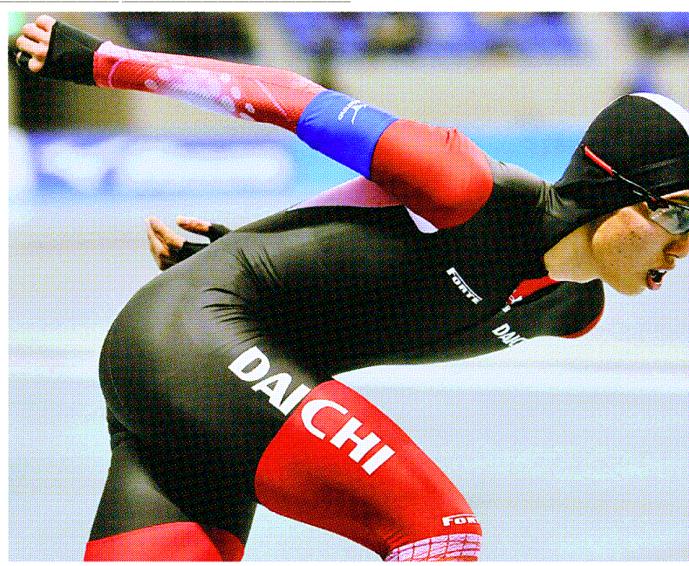


神谷悔しい2位 女子500

【女子500m】力強い滑りで2位の神谷衣理那
那は0秒2ほど自分の国内記録を更新した。100mの通過は辻麻希、小平奈緒に次ぐ10秒58。その後も持ち味の大きな滑りで加速した。ただ後半に同走の郷里砂(イヨナツー山梨学院大白樺学園高出)に追われて「力んでしまった」。目標の37秒台にはわずかに及ばなかつた。

最初の100mで「回転

士急駒大吉小牧高、中札内中出)は3位。女子500mは神谷衣理那(高堂建設)が2位、辻麻希(開西病院)が3位で表彰台に立った。小平奈緒(相澤病院)が37秒75の国内最高記録で2年連続7度目の優勝。男子3000mは東城拓也(ダイチー白樺学園高出)が初制覇し、高田衛(帯広連盟)が2位。同1500mは渡部知也(シリウスー白体大、池田高出)の5位が十勝勢最高で、中村選太(ロジネットジャパン)が国内新で制した。(北雅貴、塙原真)



【男子3000m】3分51秒48で優勝した東城拓也

○:男子3000mの東城拓也は自己ベストを5秒48も更新して優勝した。スタートから速いペースで入り、600mからの2周をラップ29秒台と粘つた。前日の5000mは8位。W杯に手が届かなかつた悔しさをぶつけた。

あす20歳となる社会人2年目。今年から後ろに大きくなり蹴るフォームに変えた。

社会人2年目成長を実感

は遅くとも、重心の低さとタイミングで加速できるようになつた」と手応えを感じる。来年2月の世界距離別選手権を目標に、調子を上げていくつもりだ。

【女子500m】3位の辻麻希の話

が、1レースごとに全力で臨む。今季は地元帯広での冬季アジア大会でのメダルも狙いたい。

内ベスト記録が出て良かった。最初の100mは思い切つていけた。平昌五輪でのメダルが最終目標だ

希の話 目標にしていた国

切美沙紀の話 自分の力を出して(高木美帆に)負けた昨日(女子1500m)2位と違つて、思うようなレースができるないまま7周

に続いた悔しい調整ミス。

特にコーナーで氷を捉えられずに進まなかつた。世界と戦わないといけないので

国内自己最高 4分7秒50

全日本距離別スピードスケート

【長野】スピードスケートの第23回全日本距離別選手権大会(日本スケート連盟など主催)第2日は22日、長野市エムウエーブで男女4種目を行つた。女子3000mは高木美帆(日体大・帶南商高出)が4分7秒50で初優勝し、前日の1500mに続いて2冠を達成した。押切美沙紀(富



【女子3000m】前田の1500m優勝

ラップ正確 2位に0.58秒差

高木美帆が女子3000mも落ちていた滑りを見せた。国内自己ベストを塗り替え、シニアの一線級大会で同種目初優勝を飾つた。正確なラップを刻み、2200mまで31~32秒台でまとめた。終盤も粘つた。それでも前日の1500mほどのが喜びはなかつた。平昌五輪を来季に控え、外國勢も本番モードに入つてくるからだ。国内ベストの記録だけでは世界のトップに立てないことは十分理解しているだけに満足はできない。「前半に力み過ぎたのかも。途中からいいっぱいいいっぱいになつてしまつた。タイムはうれしいが、手放して喜べる感じでもない」

2季目となる中長距離ナショナルチームのヨハン・デビットヘッドコチー(オランダ)の指導への理解も深まり、姉の菜那(日本電産サンキュー)陣も新たにメンバー入りした。氷を捉える感覚など、自身の進化を感じてはいる。

「世界の上に上つていくために何が必要か」を考えながら、最終日の1000mとマスマスタートに臨んだ。

【男子3000m】前田の1500m優勝